

2012年度 一般2月入学試験

# 日本史

## 〔注 意 事 項〕

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は16ページ、解答用紙はマーク・シート1枚です。監督者の指示に従って確認しなさい。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
4. マークは、マーク・シートに記載してある「記入上の注意」をよく読んだうえで、正しくマークしなさい。
5. 受験番号及び氏名は、マーク・シートの所定欄に正確に記入し、また受験番号欄の番号を正しくマークしなさい。
6. 監督者の指示があってから、マーク・シートの左上部にある「科目欄」に受験する科目名を記入しなさい。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

# 日 本 史

(60分 100点)

I 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。(30点)

明治政府にとって、財政の安定化は近代化政策を進めるための重要課題であった。そのため政府は、財源の安定を目的に土地制度・税制の改革を行った。まず1871年に田畑勝手作りの許可を行い、翌年には田畑永代売買を解禁し、地券を発行して土地の所有権を確立させた。政府はこの地券制度を基礎に、1873年7月に地租改正条例を公布し、地租改正を行った。これにより地主・自作農の土地所有権が確立し、農村への商品経済の浸透が進んだが、<sup>(A)</sup>地租改正は従来の年貢による収入を減らさない方針であったため、農民は負担軽減を求め、各地で地租改正反対の一揆を起こした。その結果、1877年に地租の税率が  % に引き下げられた。また農民が共同利用していた山林などの  で、その所有権を立証できないものは官有地として編入され、これも農民の不満が高まる要因の1つであった。なお政府は、財政安定化の歳出面を整備するため、1876年に<sup>(D)</sup>秩禄処分を行った。

明治政府はこうした財政の安定化をはかるとともに、富国強兵のため殖産興業を進めた。1870年に設置された  が中心となり、 間、次に神戸・大阪・京都間に鉄道を敷き、また旧幕府が経営していた長崎造船所、佐渡・生野の鉱山、旧藩営による高島・三池炭鉱、 造船所を接収し、官営化した。通信では、 の建議により、官営の郵便制度が発足した。一方政府は民間工業の近代化も進め、貿易赤字解消のために輸出の中心であった  の生産の拡大をはかった。また貨幣制度の整備も進め、1871年に新貨条例を定めて  を採用した円・銭・厘を単位とする新硬貨を作った。

問1 下線部(A)の要点についての説明として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 金納を物納に改め、税率を3%とした。
- ② 金納を物納に改め、税率を5%とした。
- ③ 物納を金納に改め、税率を3%とした。
- ④ 物納を金納に改め、税率を5%とした。

問2 空欄  に入る数字として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 2.5   ② 2.0   ③ 1.5   ④ 1.0   ⑤ 0.5

問3 空欄  に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 知行地   ② 庄屋   ③ 直営地   ④ 班田   ⑤ 入会地

問4 下線部(D)に関連する事柄として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 秩禄処分を行う以前に、1873年に希望者に対し秩禄支給を止めるかわりに一時金を支給する秩禄奉還の法を定めた。
- ② 秩禄処分と同年に廃刀令も実施されたが、これらによって士族の特権の全てが失われたわけではなかった。
- ③ 秩禄処分により小禄士族が受け取った金禄公債の額はわずかであったが、ほとんどの小禄士族はこれまでの生活水準を維持することができた。
- ④ 明治政府は王政復古の功労者に対し賞典禄を与えたが、これは秩禄に含まれなかった。

問5 空欄  に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 民部省 ② 工部省 ③ 農商務省 ④ 興業省 ⑤ 大蔵省

問6 空欄  に入る駅名の組合わせとして適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 銀座・横浜 ② 東京・横浜 ③ 新橋・横浜 ④ 新橋・東京  
⑤ 新橋・銀座

問7 空欄  に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 大阪 ② 兵庫 ③ 神戸 ④ 横須賀 ⑤ 呉

問8 空欄  に入る人名として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 岩崎弥太郎 ② 渋沢栄一 ③ 大隈重信 ④ 伊藤博文 ⑤ 前島密

問9 空欄  に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 砂糖 ② 綿糸 ③ 生糸 ④ 米 ⑤ 綿織物

問10 空欄  に入る語句として適当なものを，次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 二進法 ② 三進法 ③ 五進法 ④ 七進法 ⑤ 十進法

Ⅱ 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。(30点)

1651年、3代将軍徳川家光が死去し、11歳の徳川家綱が4代将軍となった。既に幕府の政治機構は整備され、叔父で会津藩主の  や譜代大名が幼少の将軍を支えた。幕府は、家綱の時代に様々な政策を実施し、強圧的な武断政治から学問などを尊重する文治政治への転換を図った。この頃、多くの藩においても藩主の権力が確立し、儒者を顧問にして藩政を刷新する池田光政らの名君が現れた。

1680年、<sup>(D)</sup>徳川綱吉が5代将軍に就任し、いわゆる元禄時代が出現した。この時代は、幕府財政も転換期を迎え、鉱山収入も減少し次第に切迫し始めた。そこで、勘定吟味役の  は、収入増のために、金の含有量を減らす貨幣改鋳を行った。しかし、この政策は物価の上昇を招き、人々の生活を圧迫した。

1702年、赤穂事件が起こった。この事件は、赤穂藩主の浅野長矩が、江戸城中で朝廷関係の儀礼を担当する吉良義央に斬りつけて切腹となり、翌年、旧赤穂藩家老の  らが吉良邸を襲撃し、義央を討ったものである。幕府は討ち入った赤穂浪士らに切腹を命じたが、赤穂浪士に同情的な者も多かった。

1716年、三家の1つ  藩主であった徳川吉宗が8代将軍になった。吉宗は、譜代大名を重視するとともに、<sup>(H)</sup>有能な人材を登用し、家康時代を理想として幕政の改革に取り組んだ。幕府財政を再建するために、<sup>(I)</sup>上げ米を実施し、金銭貸借についての争いを当事者間で解決させるために、 を出した。その結果、吉宗の晩年には幕府財政は一時立ち直った。

問1 空欄  に入る人名として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 前田綱紀 ② 堀田正俊 ③ 松平容保 ④ 保科正之 ⑤ 酒井忠清

問2 下線部(B)についての説明として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ  
選びマークしなさい。

- ① 大名の末期養子の禁を定めた。
- ② 殉死の禁止を命じた。
- ③ ばさら大名の取締りを強化した。
- ④ 湯島聖堂を建設した。

問3 下線部(C)が登用した儒者として適切なものを、次の①～⑤の中から1つ選  
びマークしなさい。

- ① 山鹿素行 ② 木下順庵 ③ 室鳩巢 ④ 山崎闇斎 ⑤ 熊沢蕃山

問4 下線部(D)の行った政策として最も適切なものを、次の①～④の中から1つ選  
びマークしなさい。

- ① 犬や鳥獣の保護を命じる生類憐みの令を出した。
- ② 林羅山を大学頭に任じ儒教を重視した。
- ③ 江戸に彰考館を設け『大日本史』の編纂を始めた。
- ④ 公事方御定書を制定して法に基づく政治をすすめた。

問5 空欄  に入る人名として適切なものを、次の①～⑤の中から1つ選  
びマークしなさい。

- ① 田沼意次 ② 荻原重秀 ③ 柳沢吉保 ④ 間部詮房 ⑤ 本多利明

問6 空欄  に入る人名として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 由井正雪 ② 丸橋忠弥 ③ 山県大弐 ④ 竹内式部 ⑤ 大石良雄

問7 空欄  に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 水戸 ② 紀伊 ③ 尾張 ④ 彦根 ⑤ 越前

問8 下線部(H)の例として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 旗本の大岡忠相を登用し、町火消を組織させた。  
② 宿駅の名主で、『民間省要』を著した二宮尊徳を登用した。  
③ 青木昆陽を登用し、凶作に備えて大根の栽培を行った。  
④ 足高の制を定め、有能な人物を大名に取り立てた。

問9 下線部(I)についての説明として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 石高1万石につき100石を臨時に献上するかわりに、参勤交代の在府期間を半減した。  
② 石高1万石につき500石を臨時に献上するかわりに、参勤交代の在府機関を4分の1にした。  
③ 石高1万石につき1000石を臨時に献上するかわりに、参勤交代を5年間免除した。  
④ 石高の半分を臨時に献上するかわりに、参勤交代を永久に免除した。



問10 空欄  に入る語句として適当なものを，次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 棄捐令 ② 徳政令 ③ 相对済し令 ④ 支払猶予令 ⑤ 半済令

Ⅲ 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。(20点)

約60年に及ぶ南北朝の動乱も、3代将軍  の頃には次第におさまり、1392年、南朝の後亀山天皇が北朝の  に譲位して、両朝の合体が実現した。この幕府は、 が京都の室町に壮麗な花の御所を設け、そこで政治を行ったので、室町幕府とよばれた。室町幕府の機構は、中央には政所、侍所、評定衆が置かれ、地方には守護が置かれた。<sup>(C)</sup>幕府の財政は、御料所といわれる直轄領からの収入があったが、それだけでは不足するので、様々な手段が講じられた。<sup>(D)</sup>

守護には所領支配のために、使節遵行権など多くの権限が与えられ、強大化した守護は、幕府にとって新たな脅威となった。とくに、山陰を中心に一族で11カ国の守護を兼ねる山名氏の勢力は強く、六分の一衆といわれていた。幕府は山名一族の内紛に乗じて、山名氏清を攻め滅ぼし、権力の集中を図った。これを  という。

6代将軍義教の時代になると、幕府は動揺し始めた。くじ引きで将軍に選ばれた義教は、権力基盤の弱さを補うために、万人恐怖の政治といわれた専制支配を行った。かねてから将軍の地位を狙っていた  の足利持氏は、1438年に反乱を起こしたが、翌年鎮圧された。しかし、1441年、義教は反発する播磨の守護  によって暗殺され、幕府の権威は大きく傾いた。

幕府の混迷は更に深まり、8代将軍義政の継嗣問題や有力守護の相続争いが絡んで、 年、<sup>(1)</sup>応仁の乱が起こった。東軍24カ国16万人、西軍20カ国11万人が11年間も戦い、いずれも決定的な勝利を得ることができなかった。この結果、主戦場であった京都の大半は焼け野原となり、室町幕府の権威はすっかり衰えた。こうして、以後1世紀にわたる戦国時代が始まることになるのである。

問1 空欄  に入る人名として最も適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 足利尊氏 ② 足利直義 ③ 足利義満 ④ 足利義詮 ⑤ 足利義昭

問2 空欄 

B
---

 に入る人名として最も適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。 

22
----

- ① 後深草天皇 ② 後醍醐天皇 ③ 後嵯峨天皇 ④ 後村上天皇
- ⑤ 後小松天皇

問3 下線部(C)についての説明として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 

23
----

- ① 細川・北条・畠山という足利一門の有力守護が、管領に就任して将軍を補佐した。
- ② 政所の長官は、赤松・一色・山名・京極の四職から選ばれるのが慣例であった。
- ③ 幕府の地方組織として、博多に九州探題が置かれ、足利基氏が就任した。
- ④ 将軍直属の軍団として奉公衆が組織され、将軍の身辺警護にあたり、守護の動きを監視した。

問4 下線部(D)についての説明として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 

24
----

- ① 宋に朝貢する形で日宋貿易を始めた。
- ② 全国の富裕な商人に土倉役・酒屋役を課した。
- ③ 段銭・棟別銭を全国の田地・家屋に課税した。
- ④ 五街道に関所を設けて、関銭を徴収した。

問5 下線部(E)についての説明として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ  
選びマークしなさい。

- ① 対立する相手方の田を刈り取り、自分の所領であることを主張する権限
- ② 所領紛争の裁判結果を現地で執行する権限
- ③ 押収した敵方の所領を処分する権限
- ④ 田地1段ごとに定額の税を賦課する権限

問6 空欄  に入る語句として最も適当なものを、次の①～⑤の中から1  
つ選びマークしなさい。

- ① 承久の乱 ② 応永の乱 ③ 寧波の乱 ④ 明徳の乱 ⑤ 中先代の乱

問7 空欄  に入る語句として最も適当なものを、次の①～⑤の中から1  
つ選びマークしなさい。

- ① 鎌倉公方 ② 太政大臣 ③ 関東管領 ④ 執権 ⑤ 奥州探題

問8 空欄  に入る人名として最も適当なものを、次の①～⑤の中から1  
つ選びマークしなさい。

- ① 大内義弘 ② 赤松満祐 ③ 土岐康行 ④ 細川勝元 ⑤ 山名宗全

問9 下線部(I)の人物が創建した建築物として最も適当なものを、次の①～⑤の中  
から1つ選びマークしなさい。

- ① 鹿苑寺金閣 ② 慈照寺銀閣 ③ 聚楽第 ④ 足利学校
- ⑤ 円覚寺舍利殿

問10 空欄  に入る数字として最も適当なものを，次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 1455 ② 1457 ③ 1467 ④ 1471 ⑤ 1485

IV 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。(20点)

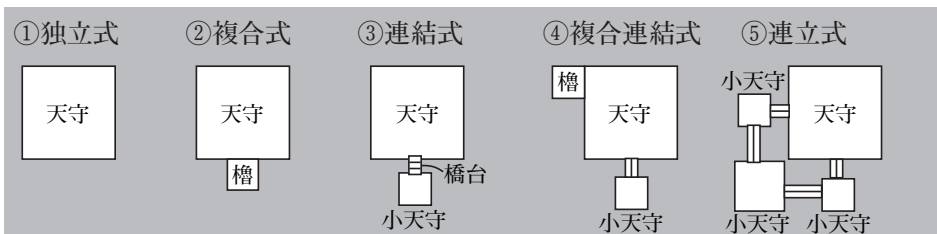
16世紀後半から17世紀初頭には、戦国の争乱がしだいに終息し、富と権力を集中した統一政権のもとで豪華・壮大な文化が生み出された。この文化を象徴するものの1つが城郭建築である。この時代の城は、領国支配の利便性により平城へと変化したが、重層の天守閣を持つ本丸や石垣で築かれた複数の郭を持ち、と<sup>(A)</sup>としての機能を併せ持つようになった。

城の内部には、濃絵の豪華な障壁画が描かれたが、その中心を担った狩野派は、室町時代に盛んになったと日本古来の大和絵を融合させて新しい装飾画を大成した。あわせて彫刻では装飾性の強い彫刻が盛んとなった。

また、村田珠光・武野紹鷗によって茶道として高められ、堺の千利休によって完成した侘茶は、簡素・閑寂を精神とし、華やかなこの文化の中であって、異なった一面を生み出した。<sup>(G)</sup>庶民の生活にも変化が見られ、と呼ばれる衣服が一般に用いられるようになった。

さらに、南蛮貿易やキリスト教宣教師の布教活動による異国文化の影響も見逃せず、イタリア人でイエズス会のによって活字印刷術が伝えられ、ローマ字によるキリスト教文学、宗教書の翻訳や日本語辞書の出版も行われたほか、銅版画の技法などももたらされた。<sup>(K)</sup>また、日本人の手によって西洋画の影響を受けた南蛮屏風も描かれた。

問1 下線部(A)に関連して、姫路城の天守の様式として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。



問2 空欄  と空欄  に入る語句の組合わせとして適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① B－軍事施設 C－城主の居館・政庁 ② B－軍事施設 C－宗教施設  
③ B－軍事施設 C－商業施設 ④ B－宗教施設 C－商業施設  
⑤ B－宗教施設 C－城主の居館・政庁

問3 下線部(D)の作品として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 山水図屏風 ② 智積院襖絵 ③ 洛中洛外図屏風 ④ 松林図屏風  
⑤ 秋冬山水図

問4 空欄  に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 錦絵 ② 似絵 ③ 墨摺絵 ④ 文人画 ⑤ 水墨画

問5 空欄  に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 肖像 ② 能面 ③ 仏像 ④ 版画 ⑤ 欄間

問6 下線部(G)に関する説明として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 36

- ① 武将の中には、古田織部や高山右近、細川忠興らのように利休の門人になるものもあらわれた。
- ② 妙喜庵待庵は、信長の弟で茶人でもある織田有楽斎が、建仁寺正伝院に設けた茶室である。
- ③ 茶室では身分をへだてて主客が対するため、懇親だけでなく政治的密談にも利用された。
- ④ この時代、茶の湯は大いに流行したが、花道は発達しなかった。

問7 空欄 H に入る語句として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。 37

- ① 小袖    ② 束帯    ③ 水干    ④ 衣冠    ⑤ 唐衣

問8 空欄 I に入る人名として適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。 38

- ① ガスパル＝ヴィレラ                      ② ヴァリニャーニ
- ③ フランシスコ＝ザビエル                ④ ルイス＝フロイス
- ⑤ オルガンチノ

問9 下線部(J)は、秀吉の時代、ヨーロッパとは別のところからも伝えられたが、適当なものを、次の①～⑤の中から1つ選びマークしなさい。 39

- ① 明    ② 呂宋    ③ 朝鮮    ④ アメリカ    ⑤ 琉球



問10 下線部(K)に関する説明として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 

40
----

- ① 長崎で刊行された『日葡辞書』は、当時の日常的日本語がローマ字で収録されている。
- ② 天草で刊行された天草版『伊曾保物語』は、その全文が漢字とローマ字混じりで記述されている。
- ③ 天草・長崎で刊行された『どちりな = きりしたん』は、キリスト教の教理問答をローマ字で印刷したものである。
- ④ 『ぎゃ = ど = ぺかどる』は、勸善の教訓をローマ字で記述したものである。